

(別添資料1)

事業所名

むすびカレッジ ジュニア

支援プログラム

作成日

令和8年

3月

1日

法人（事業所）理念		子ども・保護者・支援者の笑顔を大切にし、一人ひとりの個性を尊重しながら、安心と温かさに満ちた環境を築き、将来の自立に向けた支援を行う。			
支援方針		・子どもの「できる！」を増やす：子どもが自分で考え、選び、行動できるようにサポートします。やってみたい！という気持ちを大切にし、自分でできることを増やしていきます。 ・失敗も大切な学び：うまくいかない経験も、成長のチャンス。試行錯誤しながら「できた！」を積み重ね、自信につなげます。 ・ひとりひとりの個性を大事にする：子どもによって得意なことも、成長のスピードも違います。それぞれのペースを尊重し、のびのびと成長できる環境を作ります。 ・社会とつながる経験を大切にする：地域の人と関わったり、実生活の中で学ぶ機会をつくり、社会の中での役割を理解できるようにします。			
営業時間		平日 9 時 30 分から 18 時 30 分まで 長期休業日 9 時 00 分から 18 時 00 分まで	送迎実施の有無	あり なし	
		支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	○健康的に過ごし、身の回りのことを自分でできるように支援する。 ・検温や健康状態の確認 ・手洗い、トイレ介助、物の整頓・片付け、着替え等身辺自立に向けた練習 ・おやつ作り ・スケジュール確認			
	運動・感覚	○体を動かす楽しさを感じながら、運動能力や感覚統合を促す。 ○五感を刺激し、感覚機能を高める。 ・駐車場・公園遊びや散歩等外活動 ・体操、マット運動、ボール遊び、ダンス等室内活動 ・工作、粘土遊び等の製作活動、感覚遊び			
	認知・行動	○空間や時間等の概念の形成を図ったり、視覚支援を活用したりすることで、見通しを持った自主的な行動につなげる。 ○自分の得意なことや苦手なことなどを知り、自己理解をしていくことを促す。 ○自分の気持ちや行動に気づいて調整しようとするなど適切な行動への対応の支援を行う。 ・SST等を通した行動の振り返り ・絵カードを用いた視覚支援			
	言語 コミュニケーション	○ことばの使い方や適切な表現を学び、円滑なコミュニケーションができるよう支援する。 ・言葉すごろく、しりとり、言葉集め、カルタ等を使った語彙力向上 ・絵本の読み聞かせ ・SSTを通した学習			
	人間関係 社会性	○集団活動を通して、他者との関わり方や社会のルールを学ぶ。 ・個別活動、小グループ活動、全体活動を通した他者との関わり ・火事や地震の避難訓練 ・交通ルールの確認 ・SSTを通した適切な人間関係形成			
家族支援		・相談や助言 ・むすびだよりの発行、家族参加型のイベント実施	移行支援	・移行先との調整、相談援助、連携、情報共有 ・学校との連携では送迎の時や必要場合は支援会議を開催し、学校やむすびの様子を共有	
地域支援・地域連携		・学習センターや図書館等公共施設の利用 ・学校や他事業所、相談支援事業所との連携、情報共有	職員の質の向上	年間研修計画に基づき、計画的かつ定期的に職員の研修を実施	
主な行事等		おやつ作り、工場見学、桃狩り、りんご狩り、お店屋さんごっこ、カラオケ、クリスマス会、節分、外食体験、買い物学習、避難訓練			